

児童館とNPOの協働事業に 助成をします

これまでに、例えばこんな活動に助成をしました



災害支援を専門とする NPOと、
子どもたちがまちを歩きながら考える
「避難経路ウォーキング」をしました。

4つの児童館が共同で実施しました。地域ぐるみの取り組みとするために準備からまちづくり団体や子どもを見守る地域のお店や自治会などに協力を呼びかけました。子どもたちは避難経路を進みながら各所で待ち受ける関門を自分たちで判断してクリアしていき、ゴールである避難所を目指しました。準備から当日まで地域に関わる団体に参加を呼びかけたことで、地域全体で子どもを見守ることを地域に定着させることができました。



子どもの体験活動を支援する NPOと、
6か月かけて地域や児童館を紹介する
CM作りをしました。

CM作りに大切なコマ割やストーリー作りを NPO や劇団にワークショップ形式で教えてもらい、それを学んだ「こども監督」が各児童館で CMづくりをしました。6館合同で取り組んだこの CMは最終的に地域の映像制作会社や広告代理店といったプロに審査、講評され、それぞれに作品に表彰がされました。子どもたちは自分たち主体で CMを作る体験を通じて、自ら考えて決めてやってみることを学び、自信をつけることにつながりました。

www.npo-dondoko.net

主催：特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力：財団法人 児童健全育成推進財団 協賛：財団法人 住友生命社会福祉事業団

NPO どんどこプロジェクトって？

健全育成環境をつくるために「地域ぐるみで共に支え育ちあう」仕組みを、多様な主体の「連携」や「協働」でつくることが期待されています。本プロジェクトでは、行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出することを目指しています。これまでの成果はホームページに掲載されています。

(www.npo-dondoko.net)

助成対象は？

上記の趣旨に賛同して協働事業を行いたい児童館とNPOを募集します。NPO や児童館との協働経験は問いません。また、地域のNPOや児童館とのつながりがなくても応募いただけます。このために新規事業を企画しても、既存事業をバージョンアップする形でも結構です。児童館「だけ」、NPO「だけ」でプログラムを実施するのではなく、多様な団体と協働してみたい！という思いのある児童館やNPOをお待ちしています。

現時点で協働相手が決まっていない場合は？

「こういうことをしてみたい」という希望を書いて応募してください。協働相手を紹介できるかどうか、事務局で調整をします。なお地域に協働できる相手がない場合は事業ができないことがありますので、ご了承ください。

助成額のしくみは？

- ◎1件あたり20万円を上限とします。
- ◎児童館単位でも複数館での合同事業でも応募できます。
- ◎原則として1館1事業の助成ですが一連の事業であれば複数日にわたる活動も可能です。
- ◎「協働」での事業ですので、選定に際しては児童館はもとより、NPOの主体性や専門性が発揮されることも考慮します。
- ◎助成期間：決定後～平成26年2月末日

応募方法は？

所定の申込み書を5月7日（火）（必着）までにお送りください。
FAX・Emailでの送信が可能です。
お送り先
財団法人児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-12-15-7F
FAX: 03-3486-5142
in4@kodomo-next.jp

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本NPOセンター
（担当：吉田）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル 245

TEL: 03-3510-0855

財団法人 児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15-7F

TEL: 03-3486-5141